

# エストニア（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在エストニア日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

## 1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	4	4	113	2	4	150	4	10	89	10	18	352

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

## 2.日本語教育の実施状況

### 全体的状況

エストニアでは、2025年現在、中等教育機関6機関、高等教育機関2機関、学校教育以外の機関5機関で日本語教育が実施されている。

### 沿革

日本語教育略史参照。

### 背景

多くの場合、日本語学習を開始するきっかけは映画やアニメ、マンガ、音楽などの日本のポップカルチャーへの興味である。

## 特徴

国立大学で専科として学科が成立しているとともに、自由選択科目として、一般に開放されている国立大学もある。また、中等教育機関（高校）でも日本語教育が行われている。それ以外には私立の語学学校などでも日本語を学習することが可能であるが、主に初級レベルの学習者が対象となっている。

## 最新動向

2023年春からサーレマー高校において日本語授業が開講された。2025年春には日本語弁論大会が開催された。

## 教育段階別の状況

### 初等教育

なし

### 中等教育

- タリン市立ヤルヴェオツツア高校（選択必修第三外国語）
- タリン市立ラスナマエ高校（ロシア系）（選択授業）
- タリン市立テヘサユ高校（ロシア系）（選択授業）
- サーレマー国立高校（選択授業）
- 国立ペルグリンナ高校（選択授業）
- 国立ラクヴェレ高校（選択授業）

### 高等教育

- タリン大学（国立）〔必修科目（主専攻）及び専攻外学習者対象コース〕
- タルトゥ大学（国立）（自由選択科目）

### 学校教育以外

- 日本・エストニア文化交流協会（つばめの会）（Japanese Culture Chamber）
- タリンfolkホイスコーレ（Tallinn Folk High School）（オンラインのみ）
- タリン言語学校（Tallinn Language School）
- ABC言語学校（ABC Language School）
- 日本語学校（Japanese Language School）

## 3.教育制度と外国語教育

### 教育制度

#### 教育制度

3-6-3制

## 教育行政

初、中、高等教育機関は、教育・科学省の管轄下にある。  
本省は、首都タリンではなく、タルトゥ市にある。

## 言語事情

公用語は、エストニア語である。ロシア系住民の間ではロシア語が使われている。

## 外国語教育

英語、仏語、独語、露語のうち2か国語履修が必修となっており、第一外国語は1～3年生の間に履修し、第二外国語は遅くとも6年生までに開始される。第三外国語は9年生から開始することが多く、第三外国語及び第四外国語の言語は選択制で学校に裁量権が与えられている。生徒は希望すれば4か国語の学習も可能。

中等教育において、正規課程として日本語が履修可能な唯一の高校(公立)であるヤルヴェオツァ高校では、第一外国語に英語、第二外国語にロシア語或いはドイツ語、第三外国語として、ドイツ語或いは日本語からの選択として位置づけられている。

## 外国語の中での日本語の人気

日本語は、アジアの国の言語の中では人気が高いが、ヨーロッパ言語と比べると学習人口は少ない。

## 大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

## 4. 学習環境

### 教材

#### 初等教育

(下記【中等教育】参照。)

#### 中等教育

- 『にほんごかんたん (1) (2)』 坂起世 (研究社)
- 『みんなの日本語初級Ⅰ』 スリーエーネットワーク (スリーエーネットワーク)
- 『GenkiⅠ』 (ジャパンタイムズ)
- 『テーマ別中級から学ぶ日本語』 松田浩志ほか (研究社)
- 『みんなの日本語初級Ⅰ 漢字練習帳』 (東京国際日本語学院)
- 『Basic Kanji Book』 加納千恵子ほか (凡人社) (タリン共学)

#### 高等教育

- 『Genki』 (ジャパンタイムズ)

- 『中級の日本語』三浦昭 マグロイン花岡直美（ジャパンタイムズ）
- 『TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語』（アスク）
- 『TRY! 日本語能力試験 N4 文法から伸ばす日本語』（アスク）
- 『まるごと 日本のことばと文化』（三修社）

### 学校教育以外

- 『Genki I, II』（ジャパンタイムズ）
- 『中級の日本語』三浦昭 マグロイン花岡直美（ジャパンタイムズ）
- 『Basic Kanji Book』加納千恵子ほか（凡人社）
- 『まるごと 日本のことばと文化』（三修社）
- 『みんなの日本語初級I』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）

### IT・視聴覚機材

多くのアプリやオンライン辞書などが学習に利用されている。また、視聴覚教材として YouTube のビデオを利用した授業も実施されている。また、学習者は独自に暗記用アプリを使用し学習している。利用されているアプリなど一例は以下のとおり。

アプリ：Quizlet、AnkiDroid Flashcards、TODAI Learn Japanese with News、LingoDeer、Drops、Takoboto  
 サイト：jisho.org、WWWJDIC: Word Search (monash.edu)、Reading Tutor Homepage (tsukuba.ac.jp)

## 5.教師

### 資格要件

#### 初等教育

（下記【中等教育】参照）

#### 中等教育

特に基準なし。

#### 高等教育

大学では原則として修士号取得者。

### 学校教育以外

特に基準なし。

### 日本語教師養成機関（プログラム）

2025年9月から、タリン大学において、外国語教師修士課程として新しいコースが始まり、修了者は、エストニアの義務教育課程及び高等学校において日本語教師として働くことが可能な教員資格が取得できるように

なった。

## 日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

公立教育機関における日本人教師（日本語授業担当）は計 5 名（正規雇用 1 名、講師 1 名）。

## 教師研修

JF の日本語教師研修（各種）を除き、日本語教育に特化した研修プログラムはない。

## 6. 教師会

### 日本語教育関係のネットワークの状況

エストニア日本語教師会が、都合により 2020 年に閉会。

## 最新動向

2025 年、JF 助成により「第 14 回エストニア国内日本語弁論大会」を開催。

[教師会・学会一覧へ](#)

## 7. 日本語教師派遣情報

### 国際交流基金からの派遣

JF からの派遣は行われていない。

### その他からの派遣

（情報なし）

## 8. シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

## 9. 評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

## 10.日本語教育略史

1989年	エストニア人文大学設立。日本語教育（専科）開始
1993年	タリン市立ヤルヴェオツァ高校にて、選択必修科目として日本語クラス開講
1996年	タルト大学にて自由選択科目として日本語クラス開講
1999年	「エストニア日本語教師会」発足
2000年	タリン教育大学（現 タリン大学）にて、自由選択科目として日本語クラス開講
2005年	日本語講座のあるタリン教育大学（国立）及びエストニア人文大学（私立）などが統合され、タリン大学（国立）となった
2006年	タリン大学の自由選択科目としての日本語クラス閉鎖
2007年	エストニア日本語教師会主催「第5回日本語弁論大会」開催
2009年	エストニア日本語教師会主催「第6回日本語弁論大会」開催
2010年	タリン大学の自由選択科目としての日本語クラス再開 タリン市立旧市街学校小学生からの自由選択科目としての日本語クラス開始 ヤルヴェオツァ高校が、館長表彰（団体）された エストニア日本語教師会主催「第7回日本語弁論大会」開催
2011年	ヨーロッパ日本研究協会（EAJS）第13回国際会議開催（於:タリン大学） タリン大学ラウド前学長が EAJS 会長に選任された 第16回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム開催（於:タリン大学） エストニア日本語教師会主催「第7回日本語弁論大会」開催
2013年	エストニア日本語教師会主催「第8回日本語弁論大会」開催 タリン工科大学にて、自由選択科目としての日本語クラス開講
2015年	エストニア日本語教師会主催「第9回日本語弁論大会」開催
2017年	エストニア日本語教師会主催「第10回日本語弁論大会」開催
2019年	エストニア日本語教師会主催「第11回日本語弁論大会」開催

2020 年	エストニア日本語教師会が、都合により閉会。
2021 年	日本エストニア文化交流協会主催「第 12 回日本語弁論大会」開催。
2023 年	日本エストニア文化交流協会「第 13 回日本語弁論大会」開催。
2025 年	日本エストニア文化交流協会「第 14 回日本語弁論大会」開催。

## 情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。  
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

**E メール：kunibetsu@jpf.go.jp**

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)